

①個別データシート

種類 製品

英名 lubricating oil, including grease

整理番号: JP311009

分類 石油製品・石炭製品

和名 潤滑油(グリースを含む、石油系)

・GHG排出量 9.50E-01 kg-CO₂e/L

・情報源分類 モデルデータ

・技術記述子 潤滑油(グリースを含む)の製造

・技術の内容と機能 (ベースオイル、溶剤、増ちょう剤)～攪拌・混合
主要原材料:ベースオイル(基油)、溶剤、増ちょう剤
主要産出物:潤滑油(グリースを含む)

・情報源

社団法人潤滑油協会ホームページ<<http://www.jalos.jp/jalos/cn/index.htm>>
新日本石油:”石油便覧”(オンライン)、入手先<<http://www.eneos.co.jp/binran/part05/chapter02/section01.html>>
経済産業省,“平成12年プラスチック製品統計年報”
一般的な潤滑油製造のデータを基にモデル化

・データ作成者コメント

社団法人潤滑油協会ホームページ掲載の情報、新日本石油:”石油便覧”の情報を基に作成

・適用範囲

社団法人・潤滑油協会のホームページの情報と新日本石油:”石油便覧”の情報を参考に、ベースオイル(基油)、溶剤、増ちょう剤を原材料とした、攪拌・混合のモデルを設定して製造された潤滑油(グリースを含む)である。

・システム境界

資源採取から製品の製造までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含む。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含まない。産廃処理を含まない。

・配分

共製品はなく配分なし。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、硬化油、工業用・食料用(増ちょう剤)由来のCO₂(化石資源由来)、A重油(ベースオイル(基油))由来のCO₂(化石資源由来)、石油化学系基礎製品(一貫して生産される誘導品を含む)(溶剤)由来のCO₂(化石資源由来)、硬化油、工業用・食料用(増ちょう剤)由来のN₂O、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考	
ユーティリティ	中間フロー	入力	海水	海水		1.83E-02	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	地表_伏流水	井戸水		3.63E-06	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	井戸水	井戸水		2.92E-05	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	電力	電力,公共	JP120001	9.00E-02	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	上水道	上水道	JP323001	2.53E-05	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	工業用水道	工業用水道	JP323002	1.95E-03	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	その他の水	工業用水道	JP323002	8.13E-06	m3	工業用水とする
資源/原材料	中間フロー	入力	溶剤	石油化学系基礎製品 (一貫して生産される 誘導品を含む)		9.00E-02	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	増ちょう剤	硬化油,工業用・食料 用	JP310329	1.80E-01	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	ベースオイル(基油)	A重油	JP311006	6.30E-01	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	包装用軟質プラスチック フィルム	包装用軟質プラスチック フィルム,厚さ0.2mm 未満で軟質のもの		1.17E-05	kg	
水圏排出物	基本フロー	出力	処理済水			1.92E+00	kg	
製品	中間フロー	出力	潤滑油(グリースを含む)	潤滑油(グリースを含む)	JP311009	1.00E+00	L	